

平成31年3月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	平成31年3月19日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時45分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	藤原佳代子	
	委員	石井希典	
	委員	妹尾正人	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	安田充年	次長(教育総務部長兼務)	吉實達男
学校教育部長	岡林敏隆	生涯学習部長	重松浩二郎
参事 (教育企画総務課長事務取扱)	村田守	参事 (生涯学習課長事務取扱)	石井敏郎
教育企画総務課企画調整担当課長	高坂仁美	学校施設課長	板野正博
指導課長	松岡和俊	保健体育課長	山田裕史
市民生活局スポーツ文化部 スポーツ振興課長	舩守秀樹	岡山っ子育成局子育て支援部 子ども企画総務課長	出原晋一郎
岡山っ子育成局子育て支援部 地域子育て支援課長	村松弥生	岡山っ子育成局保育・幼児教育部 幼保運営課長	疋田洋一
事務局(教育企画総務課課長補佐)	生田裕宣		
5 議題及び結果			
報告第19号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認
報告第20号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認
報告第21号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認
報告第22号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認
報告第23号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認

6 教育長等の報告 [平成31年2月9日(土)～平成31年3月8日(金)]

2/14	こらぼミーティング(「初任者研修講座」藤原委員参加)	教育企画総務課
2/16	岡山市学校支援ボランティア「学生シンポジウム」	生涯学習課
2/28	こころの劇場	指導課
3/1	こころの劇場	指導課

藤原委員	○ 岡大で行われた学校支援ボランティアのシンポジウムについて教えてほしいのだが、シンポジストについて、今年はどうな大学の人が何人来たのか。
生涯学習課長	○ 2月16日にシンポジウムを開催したのだが、まずは活動体験発表を理科大学、就実大学からしていただいた。そして、学校園からは、ともに子どもを育てようということで、旭竜小学校の校長先生から放課後学習のモデル事業の実施校という立場で話をしてもらった。その後、学生たちが集まって情報交換会を行った。
藤原委員	○ その発表をされた理科大とか就実大学の学生さんは、教育現場でのボランティアの経験が将来的には教職につながるということで話をされたのか。それとも、全く教職とは関係なく学校支援ボランティアということだけで話されたのか。
生涯学習課長	○ 話の内容までは把握していないが、自分のボランティア活動の内容に、そういったことも含めて話していただいたのではないかと思います。
藤原委員	○ お聞きしたかったのは、いろいろな大学の人に広がっていることがよいと思うのと、現場の先生も来ていろいろ実情を話してくれるので、将来教員になりたいという人のよい機会になるのか、もしくは、社会に出る一般的なボランティアの経験で身につくものとして役に立っているのか、どちらなのかと思ってお聞きした。今の話を聞くと、多分現場の話を聞いたりするということは、将来教職を目指している人が多かったからだろう。
生涯学習課長	○ その通りだと思う。
石井委員	○ 1番目の初任者研修講座について、状況等をお伺いできればと思う。あわせて藤原委員からもご感想をいただきたい。
教育企画総務課企画調整担当課長	○ 林が講義をした部分。岡山市の岡山っ子育成条例を中心とした講義を初任者に対してやっている。今まで生徒指導だとか学習指導など、具体の部分で初任者は研修を積み重ねているが、2年目で、ある意味ひとり立ちをするのを目前にして、岡山市全体では教育としてどのようなことを目指してやっているのかというところ、少し視野を広めるところで、岡山っ子育成条例を中心にして岡山市教育振興基本計画の内容も含めながら講義をしたと聞いている。
藤原委員	○ そうでした。多分初任者研修の十何回の最後のまとめの一回だったと思うが、今年は150人弱の初任者がおられた。それに私はびっくりしたのだけでも、今言われたように、教育企画総務課からは岡山っ子育成条例がもととなっていることであるとか、仕組み的なことを説明された。私の方からは教育委員の立場で、例えば教育大綱の中に示されていることでどういう方向を向いているとか、どういうことを期待したいとか、今年は新採用だけれども、来年は違うステージで、いつまでも初任者というわけにはいかないから、そのスキルアップなりをどのようにしていくかということをお話してもらった。職務代理者が講話ということなので、来年は石井委員さんによろしく願います。 最後のまとめとしてそういう全体像を初任者の方にお示しする講座だった。
教育長	○ それでは、指導課に、こころの劇場を説明していただく。
指導課長	○ このこころの劇場は、平成21年度から実施しているもので、劇団四季による公演に希望校の小学校6年生が参加するもの。今年度は「王様の耳はロバの耳」という公演で、全部で56校、約4,000名で30分程度だったが、6

<p>教育長</p>	<p>年生の児童が参加している。</p> <p>子どもたちの感想の中には、初めてミュージカルを見たということで、歌や踊りがとてもすばらしくて、あっという間に時間がたったとか、それから道義的な価値に触れることができたというような、例えば本当のことを言うことの大切さや難しさについて考えさせられたという感想が出ており、有意義だったと感じた子どもたちが多かった。</p> <p>○以上で事業報告を終わる。</p>
<p>7 議 事 の 大 要</p>	
<p>教育長</p> <p>全委員 教育長</p> <p>教育企画総務課長</p>	<p>○ 次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開についてお諮りをする。</p> <p>日程第5の第7号及び第8号議案は、任免、賞罰等職員の身分取り扱い、その他人事に関する事項として、会議規則第7条第1項第1号に該当するため、非公開としたいと思うが、委員の皆さん、いかがか。</p> <p>○ <承認></p> <p>○ それでは、そこの該当するところは非公開とする。日程第5の第7号及び第8号議案である。</p> <p>それでは、日程第4、報告第19号、これを教育企画総務課から報告をお願いする。</p> <p>○ それでは、平成30年度2月補正一般会計予算の説明をさせていただく。お手元の資料の1ページ、報告第19号専決処分の報告についてご覧いただきたい。</p> <p>このたび平成30年度岡山市一般会計補正予算（第6号）案のうち、教育委員会分の教育費及び災害復旧費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的な余裕がなかったため、2月26日に専決処分したものである。</p> <p>内容については、資料の2ページをお開きください。</p> <p>平成30年度岡山市一般会計補正予算（第6号）について、こちらのほうをご覧ください。</p> <p>第10款教育費の教育委員会分の補正前の額473億2,172万9,000円に対して、42億7,830万9,000円を増額し、補正後の額を516億3万8,000円にしようとするものである。</p> <p>今回の補正予算は、本年度最終補正のため、工事請負費の入札残や消耗品費などの不用額が生じる見込みの事業、また不用額が見込まれる人件費などの減額調整を行っているが、これら不用額の減額については説明を省略させていただく。</p> <p>まず、資料の3ページをご覧ください。</p> <p>一番下の事業になるが、第5項小学校費の第1目学校管理費、学校施設管理費の補正額のうち49億4,800万円は、国1号補正に伴う国庫補助内示を受け、全小学校の普通教室へ空調設備を整備しようとするものである。同じく第1号補正に伴って、中山ほか6小学校のブロック塀安全対策のための改修工事費6,120万円を平成31年度から前倒して実施しようとするものである。</p> <p>また、国の2号補正に伴う国庫補助内示を受けて、城東台小学校の天井落下防止対策のための改修工事1,110万円を前倒して実施しようとするものである。</p> <p>続きまして、資料4ページ、中ほどをご覧ください。</p> <p>第10項中学校費の第1目学校管理費、学校施設管理費の補正額のうち7,590万円を、同じく国の補助内示を受けて、岡輝中学校ほか5中学校のブロック塀安全対策事業費を前倒しようとするものである。</p> <p>次に、資料の6ページをご覧ください。</p> <p>上から3つ目になるが、第25項社会教育費、第35目美術館費、美術館運</p>

営費の補正額のうち200万円は、美術品購入のために受けた寄附金をオリエント美術館美術品購入準備基金に積み立てるものである。

資料7ページをご覧ください。

上から2つ目になるが、第30項保健体育費、第11目学校給食費、学校教育施設等整備基金運営費の補正額のうち4,433万8,000円は、学校教育施設等整備基金への積立金で、学校給食の民間委託による経費削減分並びに預金利子を基金へ積み立てる経費として計上しているものである。

それから、第12款災害復旧費であるが、第45項教育施設災害復旧費、第25目社会教育施設災害復旧費、補助災害復旧費の補正額29万7,000円は、補助対象事業の追加に伴うものである。

最後に、繰越明許費（追加）及び（変更）についてであるが、小学校施設改修事業3,215万円のうち1,005万円は、吉備小学校合併浄化槽解体及び体育倉庫新設に係るものである。体育倉庫新設に必要な建築資材である強力ボルトの入手が全国的に難しくなっているため、年内の完工が困難となり、繰り越すものである。

同じく小学校施設改修事業のうち1,100万円は、平成30年7月豪雨により学校施設内ののり面の一部が崩落した千種小学校の擁壁整備に係るものである。調査の結果、防災上、実際に崩落した箇所とその周辺の区間についても改修が必要と判断したため、年度内の完工が困難となり、繰り越すものである。

3つ下の小学校施設補助災害復旧事業2,570万4,000円は、同じく平成30年7月豪雨により学校敷地内ののり面の一部が崩落した桃丘小学校の復旧に係るものである。地元関係者との協議により不測の日数を要し、着手に遅れが生じたため、年度内完工が困難となり、繰り越すものである。

その他の事業については、先ほどご説明したが、国補正に伴うもので、年度内に完工できる適正な工期の確保が難しいため、全額を繰り越すものである。

なお、今回の補正予算については、3月12日の市民文教委員会で承認をいただき、15日の本会議で議決となっていることを申し添える。

簡単であるが、以上で説明を終わる。

続いて、8ページ以降の補足資料について、学校施設課長から説明する。

○ 資料は8ページから12ページになるが、まず初めに8ページの小学校空調設備整備事業についてご説明する。

現在、中学校においては、全ての学校において入札がとり行われ、全ての業者が確定し、工事契約の手中である。順調に工事が進めば、夏までには使用開始ができると見込んでいる。

また、小学校については、実施設計を進めているところである。この2月補正では、小学校91校の工事請負費及び工事管理委託費を合わせた金額を要求している。順調にいけば、設計が済んだものから工事発注をかけていき、予想される業者や技術者の不足であるとか、エアコン本体の納期を勘案して、集中することによるデメリットを少しでも解消したいというふうに考えている。

次に、9ページ、ブロック塀の安全対策事業についてであるが、平成30年6月に発生した大阪北部地震を受け、市内の小・中学校を調査した結果、小学校15校、中学校11校、合わせて26校について設計を含めて安全対策を実施している。現在、13校について工事などを行っているところであるが、この2月補正で要求した学校については、残り13校の比較的規模が大きく、設計委託に出している学校である。現在、設計が終わっている状況であり、これから順次発注をかけていく予定である。

なお、空調設備整備事業及びブロック塀安全対策事業については、来年度までの交付金の執行となっており、工事の完成は遅くとも来年度末までには終わらせる予定にしている。

最後に、10ページの防災機能強化事業についてご説明申し上げる。

学校施設課長

	<p>天井高さが6メートルを超えるなど災害時の避難経路における天井落下防止対策を講ずることが必要な学校として、城東台小学校について対策を講じるものである。</p> <p>11ページに平面図をつけているが、2階及び3階の吹き抜けと記載しているところでべた塗りの箇所が改修対象のところとなる。</p> <p>また、12ページに吹き抜け部分の写真をつけているので、参照をお願いします。</p> <p>説明は以上である。</p>
<p>教育長 藤原委員</p>	<p>○ 何か質問やご意見はないか。</p> <p>○ この防災機能の分の城東台小学校だが、城東台小学校そのものは20年ぐらいで、それほど古くはないと思うのだが、その吹き抜けという設計上、こういうことが必要になるのか。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ 天井の高さが6メートルを超えるというところがひっかかって耐震上の問題が出てくるということから、天井改修を行う。ただし、特定天井といって文部科学省のほうから義務づけているものについては、屋内体操場であるとか、講堂であるとか、屋内プール、そういったところの天井で6メートルを超えると、それから面積が200平米を超える、そういったものが対象となるけれども、今回の城東台小学校については、用途も、それから面積も一応超えることはないのだが、天井の高さが6メートルを超えるということで、その特定天井に準じた形で耐震補強を行っていくということで取り組んでいる。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ 他の学校、例えば操明小学校なども結構新しい建築でやっているが、それは高さ的にそういうスペースはなかったのか。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ 昨年、御津小学校、操明小学校、それから岡山中央中学校については、既に工事を実施することが決まっている。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ ということは、こういう形状の6メートル以上の天井を持っている学校は、ここで最後なのか。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ はい、これが最後になる。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 空調設備について、高校はどうなっているのか。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ 岡山市で所有している岡山後楽館高校は、既に空調設備がついているということで、今回の対象にはなっていない。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 今回は普通教室ということで期待があるのだが、今後、体育館とか、それ以外のところについての整備の予定があれば教えていただきたい。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ 現在の普通教室については、通級、それから特別支援含めて約1,700教室を目途に整備を進めている。それについては来年度までに終わるという予定にしており、また体育館であるとか、そのほかの教室について、どのようにしていくかということについては、また今後の検討課題と思っている。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ その空調設備のもとになるのはガスなのか。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ 現在、このエアコン整備について、中学校については全てガスになっている。現在設計を進めている小学校については、都市ガス、それからプロパンガス、それから電気という形で、コストパフォーマンスの問題や設置場の問題もあり電気になっている小学校がある。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ ガスを利用するメリットというのはどういったところにあるのか。それぞれプロパンガスとガスと電気のそれぞれメリット・デメリットがあると思うが。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ メリット・デメリットはそれぞれあるが、主にしているのは、コストパフォーマンス、VE、そういったところの観点から選ぶことを基本としている。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ それでは、災害の観点は入ってないという理解でよいか。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>○ 災害というところについても、分散させるという意味合いでは、都市ガスとか電気で、それぞれ幾らか分散はできていると思うが、災害という観点よりも、まずは先にこの夏の猛暑についての対応を行っていくということが先決と考えている。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ 美術館費のところだが、大体この寄附金がオリエントの美術品ということで</p>

	<p>よいか。</p> <p>これは基金を何年も積み立てている分なのか。</p>
社会教育部長	○ この基金は従来からずっとあるものである。この寄附金については、今年度、一つの企業からいただいて、来年度これを活用して美術品を購入しようというための今回は積み立てというものである。
藤原委員	○ 大体ペース的には年に1社とか、2社とかなのか。また、個人のものはないのか。
社会教育部長	○ そういうふうにコンスタントにあるとよいのだが、なかなかそれはコンスタントにはなくて、このたびは非常に従来から理解のある企業からいただくことができた。久しぶりである。
藤原委員	○ オリентには市民の会などもあって、個人ではそういう寄附もあると思うが、この基金は全くの別なのか。
社会教育部長	○ 友の会のことだろうと思うが、友の会は会員になっていただいて、事業面でのサポートをいろいろしていただいているけれども、美術品の購入のための寄附ということであれば、個人の方よりはこういった企業のほうからいただいている。
藤原委員	○ 私はこのことをよく知らなかったもので、広報とか、啓発とかしているのか。ふるさと納税のように、何かそのチャンスがあればと思っている企業や個人もあると思うのだが。
社会教育部長	○ その通り。この点が足りてなかったかもしれないので、いろいろな機会を捉まえて広報に努めていきたい。
藤原委員	○ オリент美術館の特異性を、珍しいものが岡山にあるということを含めて、ぜひぜひ啓発をしてほしいと、この基金のことからそう思った。
石井委員	○ 備前市では、刀の5億円について、企業版ふるさと納税ということでもかなり積極的に市長も企業を回られていたが、そういう特別なときには活用できると思う。
藤原委員	○ 事務経費に関して、学校の教職員の人件費はどこに入っているのか。政令市になって、市が独自でやっていると思うが、浮いた費用、過不足調整的なものはどの項か。
教育企画総務課長	○ 例えば小学校だったら小学校の学校学事事務費にある。中学校だったら中学校の学校学事事務費のところ給与とか諸手当が入っている。 中学校だったらこの4ページ一番下の学校学事事務費、不用額の減額ということで、一般給与、期末手当、勤勉手当等が入っている。
藤原委員	○ ここの項だとすると、結構不用が多いが。現場で手当とかやり方とかがうまく作用しているのならよいのだが、人が見つからなくて不用がたくさん出ているのか、そうではないのか。
学校教育部長	○ 確かなかなか人が見つからなくて、椅子は用意したけど育ててないという、遅れがちになっているというところは確かにある。しかし、全てがそうではなくて、トータルとして予算をいただいている、その調整の中でこういう形になったというように理解をしている。
藤原委員	○ それだとよいのだが、現場が講師不足というのは最近も聞くし、年がら年中言っている人もいますので、それでこの不用が発生するのだったら、これは全国的なことなのだろうけれども、他の手だても考えないといけないのかなと思った。小学校費も中学校費も一緒だと思う。
教育長	○ それでは、報告第19号を承認してよろしいか。
全委員	○ <承認>
教育長	○ 報告第19号を承認する。 続いて、報告第20号をこども企画総務課から報告していただく。
こども企画総務課長	○ 報告第20号専決処分報告についてご説明する。 資料の13ページをお願いする。 本件は、平成30年度一般会計補正予算（第6号）案のうち、岡山っ子育成

	<p>局分の予算案の同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、平成31年2月26日に専決処分したものである。</p> <p>資料の14ページをお願いします。</p> <p>平成30年度一般会計補正予算（第6号）について、2の事業別説明（岡山っ子育成局分）の表でご説明をさせていただく。</p> <p>第20項幼稚園費、第1目幼稚園管理費は1,202万円余の増額で、市立幼稚園の耐震改修に係る経費等の不用額の減額のある一方、増額補正として、市立幼稚園のブロック塀の改修工事8,168万円を平成31年度当初予算から今回の補正予算に前倒して計上するためのものである。</p> <p>第25項社会教育費、第5目社会教育振興費は385万円余の減額で、次世代育成体験活動促進事業費のうち、放課後子ども教室実施委託料等の不用額である。</p> <p>第30目自然の家費229万円余の減額は、少年自然の家運営費の不用額である。</p> <p>以上で岡山っ子育成局関係分の説明を終わらせていただく。ご審議のほどよろしくをお願いします。</p>
<p>教育長 藤原委員</p>	<p>○ 何かご質問、ご意見ないか。</p> <p>○ この耐震改修は、この工事請負費は今不用ということがちょっと額的には多いのだが、これは業者が見つからなかったとかということではなく、うまく安く上がったということなのか。</p>
<p>幼保運営課長</p>	<p>○ こちらは耐震化工事として浦安幼稚園と高島幼稚園、2カ所の予算をもともと取っていたが、各学区の園の将来的な利用が、例えばこども園に使用するかそういうようなことが決まる可能性もあったので、長寿命化のためのほかの工事と一緒に予算をつけていただいていたのだが、まだそちらの将来的な施設の活用方法が決まらない、また高島幼稚園については、民営化になるということで、今回は耐震化の工事のみをやらせていただいたということで不用額が出ている。</p>
<p>藤原委員</p>	<p>○ なかなかこれだけの予算を取るのは大変だと思うが、必要になった場合、高島幼稚園はそういう動きのようだが、必要になった場合は耐震整備ということでは絶対につく予算ということでよいか。</p>
<p>幼保運営課長</p>	<p>○ はい、耐震整備については当然予算がつき、今回でも耐震整備についての工事は完了している。あとは防水であるとかそういったところなのだが、今回全面的なものは行っていないが、部分的な改修等は行っている。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 他にあるか。よろしいか。</p> <p>○ <なし></p> <p>○ それでは、報告第20号を承認してよろしいか。</p> <p>○ <承認></p> <p>○ 報告第20号を承認する。</p>
<p>スポーツ振興課長</p>	<p>続いて、スポーツ振興課から報告第21号、よろしくをお願いします。</p> <p>○ 報告第21号専決処分の報告についてご説明する。</p> <p>お手元の資料15ページをご覧ください。</p> <p>平成30年度岡山市一般会計補正予算案のうち、スポーツ振興課分の教育費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、平成31年2月26日に専決処分したものである。</p> <p>資料16ページをご覧ください。</p> <p>内容は、保健体育費体育振興費のうち、学校体育施設改良事業に係る委託料及び工事請負費について、平津小学校運動場夜間照明設備設置事業の入札残による不用額653万6,000円を減額補正するものである。補正後の額は5,796万4,000円となる。</p> <p>説明は以上である。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 何かご質問、ご意見ないか。よろしいか。</p>

<p>全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ <なし> ○ 報告第21号を承認してよろしいか。 ○ <承認></p>
<p>保健体育課長</p>	<p>○ 報告第21号を承認する。 続いて、報告第22号、保健体育課から願います。 ○ 報告第22号は、平成30年度岡山市学童校外事故共済事業費特別会計補正予算への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったために、平成31年2月26日に専決処分したので、教育委員会に報告を行い、承認を求めるものである。 委員会資料の18ページをご覧ください。 今回の補正は、歳出歳入ともに170万6,000円の増額補正をお願いします。歳入については、繰越金170万6,000円、これは決算によって確定した前年度の余剰金を繰越金として歳入に計上するものである。補正後の歳入合計額は1,437万3,000円である。 続きまして、歳出である。 第1款学童校外事故共済事業費、第1項学童校外事故共済事業費、第1目の管理費は、当初予算で事務費及び実施分の積立金として56万2,000円を計上していたけれども、先ほどの前年度剰余金170万6,000円を基金に積み増しをするために、積立金として管理費を増額するものである。歳出合計金額は、先ほどと同じ1,437万3,000円である。 以上、簡単ではあるけど、説明を終わらせていただく。ご承認方、よろしく願います。</p>
<p>教育長 全委員 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 何かご質問、ご意見があれば願います。 ○ <なし> ○ それでは、報告第22号を承認してよろしいか。 ○ <承認> ○ 報告第22号を承認する。</p>
<p>学校施設課長</p>	<p>次の報告第23号及び報告第24号は、リース公用車の事故に係る同一の案件のため、まとめて報告をお願いします。 学校施設課から願います。 ○ それでは、報告第23号専決処分の報告について及び報告第24号専決処分の報告についてご説明をさせていただきます。 このたびは当課職員がこのような事故を起こしてしまい、大変申しわけない。ここに深くおわびを申し上げる。 それでは、20ページをご覧ください。 まず、相手の普通自動車の物損についてご説明する。 本件は、市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について、専決処理をしたので報告し、承認を求めるものである。 21ページに事故の概要及び付近見取り図を、22ページに事故当時の現場の図を示しているの、ご覧ください。 このたびの事故は、平成31年1月17日木曜日午前11時1分ごろ、岡山市中区高屋58番地1地先の路上において、当課職員がリース乗用車を運転中、脇見運転をしてしまい、信号待ちで停車している車両に後部から追突したものである。被害状況は、市側及び相手側ともに人身被害はなかったが、物損被害があったので、その対応についてご説明する。 23ページ、24ページに議案を示している。 25ページには破損した相手方の車の写真をつけている。 また、信号待ちで停車していた普通自動車物損に対する損害賠償額については、62万7,080円である。なお、賠償額の明細は、24ページに記載しているとおりである。 また、賠償額については、全額全国市有物件災害共済会自動車損害共済によ</p>

	<p>る共済金により支払うものとする。</p> <p>次に、26ページをご覧ください。</p> <p>これは公用車の物損についてである。</p> <p>本件は、債務不履行にかかわる損害賠償の額を定めることへの同意について専決処理をしたので、報告し、承認を求めるものである。</p> <p>27ページに事故の概要及び付近見取り図、28ページに事故当時の現場の図を示しているの、ご覧いただきたい。</p> <p>また、29ページ、30ページに専決処分の報告を示している。</p> <p>31ページには、損傷したリース公用車の写真をつけている。</p> <p>破損したリース公用車については、庁舎管理課と賃貸人である株式会社トヨタレンタリース新岡山とで協議した結果、修理費が多額となることから修理せず、軽自動車リース契約の第16条、自動車の滅失等に基づき、当該車両のリース契約を平成31年1月31日付で終了し、同上に定める損害賠償金を支払うことになった。損害賠償額は21万9,306円である。</p> <p>なお、損害賠償額の明細は30ページに記載しているとおりでである。</p> <p>また、賠償額については、全額全国市有物件災害共済会自動車損害共済による共済金により支払うものとする。</p> <p>今後このようなことがないように、当課職員には安全運転の周知徹底を図っていくものである。このたびはこのような事故を起こしてしまい、おわびを申し上げます。当該職員を含め、課の職員全員に対しても、安全確認の遵守など注意を喚起しているところである。まことに申しわけない。</p> <p>以上で説明を終わらせていただく。</p>
教育長	○ 同じ事案で報告第23号、報告第24号と分かれて報告しているが、この理由を教えてください。
学校施設課長	○ 報告第23号については、専決処分については金額が50万円を超えるものと50万円を超えないものとの分けている。50万円を超えるものについては議案となり、50万円を超えないものについては市長の専決処分ができるということで、議案のほうについてはさせていただいている。
教育長	○ 議会にかけるものとかけないものということで分けているようだ。
藤原委員	○ 何かご質問、ご意見ないか。
藤原委員	○ 交通事故はあってはいけないけど、時々起こってしまう。このとき、停車していたというのは信号待ちだったのか。
学校施設課長	○ 信号待ちの車に脇見運転をして追突をしたというものである。前の車は停車していた。
藤原委員	○ 時々ぶつかりそうになるのだけれど、脇見なのか。携帯などを持っていなかったらよいと思ったが。
学校施設課長	○ 携帯電話などは操作していなかったの、脇見のようだ。
藤原委員	○ 最近、すれ違う車の中で携帯操作している人を見かける。運転も上手なのかもしれないが、危ないことは確かだ。市役所の職員に限ってそういうことはないと思うが、単なる脇見だったのか。
教育長	○ 何かほかにご質問等ないか。
石井委員	○ 時速何キロぐらいでぶつかったのか。
学校施設課長	○ そのときのスピードは30キロ程度ということである。
石井委員	○ かなり出ていた。本当に見ていなかったということか。
学校施設課長	○ 信号があるということは本人も薄々気づいてはいたのだが、脇見をしていて、止まれるであろうという甘さがあったのかもしれない。
教育長	○ 前の方のけががなくてよかった。
藤原委員	○ それが一番。むち打ちにでもなっていたら。
石井委員	○ この内容であれば、特に懲罰とかそういう対象にはならないということではないか。
学校施設課長	○ 特にそういう対象ではないと思う。

教育長 全委員 教育長	<ul style="list-style-type: none">○ では、報告第23号、報告第24号を承認してよろしいか。○ <承認>○ では、報告第24号を承認する。 <p>以上で公開議案の審議は全て終了する。 次は非公開の審議に移るので、関係者以外は退席をお願いする。</p>
-------------------	--

傍聴の状況		
報 議	道 会	0名 0名

平成31年3月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	平成31年3月19日（火）		
2 開会及び閉会	開 会	14時45分	
	閉 会	14時55分	
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	藤 原 佳 代 子	
	委 員	石 井 希 典	
	委 員	妹 尾 直 人	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	安 田 充 年	教育次長	三 宅 泰 司
学校教育部長	岡 林 敏 隆	参事 (教育企画総務課長事務取扱)	村 田 守
教職員課長	奥 橋 健 介		
5 議題及び結果			
第7号議案	岡山市立学校教職員の人事について		原案可決
第8号議案	岡山市教育委員会事務局等職員の人事について		原案可決